



2022年3月期 第1四半期決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員 CFO 水間 克之

2021年8月3日

サマリー

(億円)

	第1四半期実績			通期計画				
	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	増減	2021年3月期 実績(a)	2022年3月期 前回*計画(b)	2022年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
連結販売台数(千台)	133.1	175.3	+42.2	860.2	1,000.0	960.0	+99.8	-40.0
生産台数(千台)	92.2	183.8	+91.6	809.9	1,030.0	990.0	+180.1	-40.0
売上収益	4,570	6,352	+1,782	28,302	33,000	33,000	+4,698	±0
営業利益	-157	295	+452	1,025	2,000	2,000	+975	±0
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-77	185	+262	765	1,400	1,400	+635	±0
為替レート US\$	¥107	¥109	+¥2	¥106	¥108	¥109	+¥3	+¥1

* 2021/5/11 発表値

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2

はじめに、2022年3月期第1四半期実績および
2022年3月期通期計画の概観について、ご説明いたします。

2022年3月期第1四半期については、昨年に対し販売台数増、増収増益となりました。

重点市場である米国を中心に全需は回復基調にありますが、
前期からの世界的な半導体不足等による生産制約が続いています。

期初計画発表以降の状況を鑑み、
2022年3月期通期計画は生産台数および連結販売台数共に4万台減と下方修正しますが、
業績計画については前回発表値を達成する強い想いで臨みます。

2022年3月期 第1四半期実績

第1四半期実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
登録車	14.3	19.0	+4.7
軽自動車	4.3	5.1	+0.8
国内合計	18.6	24.0	+5.5
米国	91.1	116.6	+25.6
カナダ	6.3	12.2	+5.8
ロシア	0.2	1.5	+1.3
欧州	3.2	3.4	+0.2
豪州	4.9	7.4	+2.4
中国	6.0	4.0	-1.9
その他	2.9	6.2	+3.3
海外合計	114.5	151.3	+36.8
合計	133.1	175.3	+42.2

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

それでは2022年3月期 第1四半期実績からご説明いたします。

初めに、連結販売台数についてです。

グローバル合計で、4万2千2百台の増となる17万5千3百台となりました。

前年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて

重点市場である米国を中心に販売が落ち込みましたが、

市場の回復に合わせ、

海外市場は、前年に対し3万6千8百台の増となる15万1千3百台となりました。

国内市場は、昨年導入した「LEVORG」が好調を維持し、

前年に対し5千5百台の増となる2万4千台となりました。

第1四半期実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
連結完成車販売台数 合計	133.1	175.3	+42.2

	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
米国生産	36.3	66.6	+30.3
国内生産	55.9	117.2	+61.3
生産台数* 合計	92.2	183.8	+91.6

*トヨタ向け86の台数を含む

次に生産台数についてです。

半導体需給ひっ迫等により、
操業停止や生産調整が発生しましたが、
生産台数合計は、前年同期に対し9万1千6百台の増となる18万3千8百台となりました。

第1四半期実績 連結業績

(億円)

	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
売上収益	4,570	6,352	+1,782
国内	947	1,130	+183
海外	3,623	5,222	+1,598
営業利益	-157	295	+452
税引前利益	-107	343	+450
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-77	185	+262
為替レート US\$	¥107	¥109	+¥2
EURO	¥118	¥131	+¥13
CAN\$	¥77	¥88	+¥11

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

6

続いて、連結業績です。

売上収益は、販売台数増による売上構成差+1,661億円、為替レート差+147億円などにより、前年同期比1,782億円の増収となる6,352億円となりました。

営業利益は、前年同期比452億円の増益となる 295億円となりました。

また、税引前利益は450億円の増益となる 343億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は262億円の増益となる 185億円となりました。

前年実績対比
第1四半期実績 営業利益増減要因

(億円)



売上構成差	+617	原価低減等	-118	諸経費	-107	為替影響	-16
新車国内	+45	SUBARU -85	SIA *1 -33	製造固定費 -46	販管費 -121	保証修理費 +60	US \$ +35
新車海外	+718	原価低減 +5	原価低減 +3	SUBARU -54	SIA *1 +8	SUBARU -46	EURO +4
販売奨励金	+9	原材料・市況等 -90	原材料・市況等 -36	外製型費 -4	外製型費 +11	国内ディーラー -11	CAN \$ +28
その他	-155			固定加工費 -50	固定加工費 -3	SOA *2 -27	中国元 +1
						SCI *3 -10	仕入為替調整 +11
						その他 -27	未実現利益分 -95

*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. *2 SOA: Subaru of America Inc. *3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

貴金属等の原材料高騰や

販売活動および販売台数増に伴う費用増などが減益要因となったものの、

国内および海外向け新車販売台数が増加したことを主因とし、

前年同期に対し452億円の増益となりました。

尚、為替レート差はUSDドルで約2円、Euroで約13円、CANDドルで約11円の円安となりました。

米国市場向け販売奨励金については、

前年同期の台当たり1,600ドルに対し、500ドル減となる1,100ドルとなり、

奨励金総額としては15億円の削減となりました。

キャッシュフロー / 手元資金状況

(億円)

	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	
営業活動によるCF	-796	201	
投資活動によるCF	-364	-550	
フリーCF	-1,160	-349	
財務活動によるCF	1,817	-342	
	2021年3月末	2021年6月末	増減
現金及び現金同等物 期末残高	9,073	8,385	-688
有利子負債 期末残高 *	3,339	3,360	+21
ネットキャッシュ	5,734	5,025	-709

*リース負債は上記の実績に含んでおりません。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

次にキャッシュフローおよび手元資金の状況です。

フリーキャッシュフローは-349億円となりました。

現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に対し688億円減の8,385億円、有利子負債残高は、前期末に対し21億円増の3,360億円となりました。

その結果、ネットキャッシュは前期末に対し709億円減の5,025億円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
設備投資 *1	154	192	+38
減価償却費 *1	230	228	-3
研究開発支出 *2	254	271	+18

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。

尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。

2022年3月期 見通し

通期計画 連結業績

(億円)

	2021年3月期 通期実績(a)	2022年3月期 前回計画(b)	2022年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
連結販売台数 (千台)	860.2	1,000.0	960.0	+99.8	-40.0
生産台数 * (千台)	809.9	1,030.0	990.0	+180.1	-40.0
売上収益	28,302	33,000	33,000	+4,698	±0
営業利益	1,025	2,000	2,000	+975	±0
税引前利益	1,140	2,030	2,030	+890	±0
親会社の所有者に帰属する 当期利益	765	1,400	1,400	+635	±0
為替レート US\$	¥106	¥108	¥109	+¥3	+¥1
EURO	¥123	¥128	¥130	+¥7	+¥2
CAN\$	¥80	¥83	¥88	+¥8	+¥5

*トヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

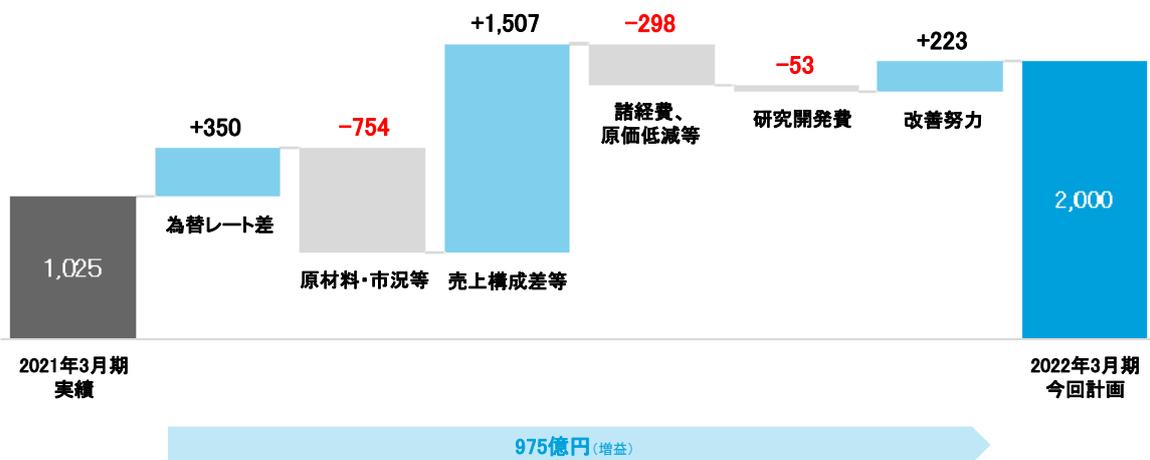
続いて、2022年3月期 通期計画についてです。

冒頭でご説明しました通り、半導体の需給ひっ迫の影響が残ることから
連結販売台数および生産台数の見通しを下方修正いたします。

一方売上収益は台数変動はありますが、為替変動と米国奨励金削減により不変とし、
各段階利益についても期初計画値から変更はなく、
営業利益2,000億円、税引前利益2,030億円、
親会社の所有者に帰属する当期利益1,400億円を目指します。

前年実績対比
通期計画 営業利益増減要因

(億円)



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

初めに、外部環境要因として、為替レート差による増益+350億円、
原材料・市況等の悪化で-754億円となる見通しです。

尚、為替レート差の内、USドルが約3円の円安により、約+300億円です。

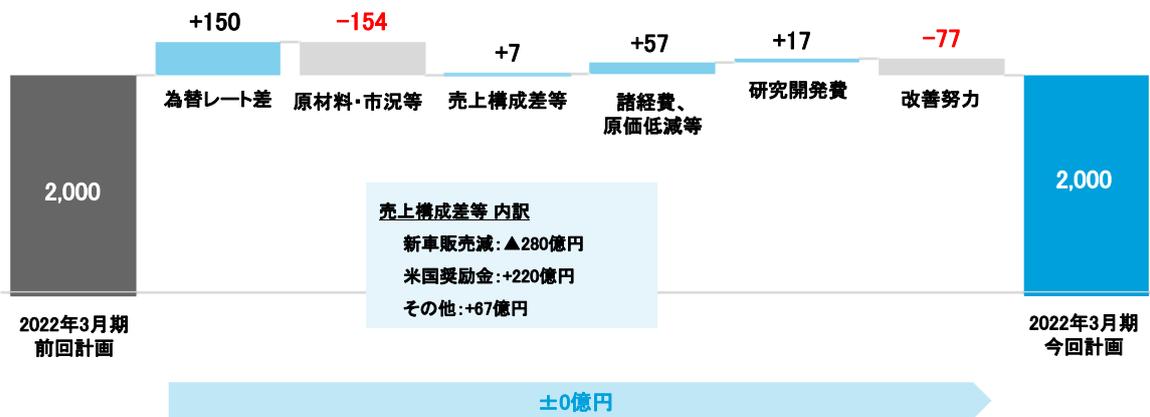
売上構成差等については、半導体供給リスクへの懸念は続くものの
米国の強い需要を前提に、新車販売の増加により+1,507億円、
販売台数増に伴う諸経費等の増加や原価低減活動等で-298億円、
研究開発費の増加による-53億円を見通しております。

尚、米国市場向け販売奨励金については、
前年の台当たり1,300ドルに対し、50ドル増となる1,350ドルとなり、
奨励金総額としては138億円の悪化となる見通しです。

不確定要素が多く、非常に厳しい状況が続いておりますが、
改善努力223億円を含めて、営業利益2,000億円の達成を目指します。

前回計画(5/11発表値)対比
通期計画 営業利益増減要因

(億円)



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

13

次に、5月11日に発表しました前回計画対比の営業利益増減要因です。

US\$約1円の円安を主因とした為替レート差の改善がある一方、
原材料・市況等のさらなる悪化を見込んだ見通しとしました。

連結販売台数減による減益影響は大きいものの、
米国販売奨励金や販管費の削減など、
期初に掲げた収益改善努力は着実に進んでおり、更に加速させていきます。

尚、米国市場向け販売奨励金については、
前回計画の台当たり1,600ドルに対し、250ドル減となる1,350ドルとなり、
奨励金総額としては約220億円の改善となる見通しです。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2021年3月期 通期実績(a)	2022年3月期 前回計画(b)	2022年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資 *1	862	1,000	1,000	+138	±0
減価償却費 *1	950	1,000	1,000	+50	±0
研究開発支出 *2	1,016	1,200	1,200	+184	±0

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

最後に設備投資・減価償却費・研究開発支出についてです。

前回から変更はありません。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で2022年3月期 第1四半期決算の説明を終わります。

ありがとうございました。

ご参考(1)

- セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- 海外売上収益
- 連結財政状態計算書
- 単独販売台数
- 米国子会社業績
- 2021年3月期通期実績及び2022年3月期実績(四半期別)
- 生産台数 / 小売台数 推移

第1四半期実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
自動車	4,371	6,177	+1,806	-141	287	+428
航空宇宙	187	163	-24	-28	-8	+20
その他	12	12	±0	13	16	+4
消去・全社				-0	0	+0
合計	4,570	6,352	+1,782	-157	295	+452

第1四半期実績 地域別セグメント業績

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
日本	1,220	1,585	+365	-436	96	+532
北米	3,066	4,482	+1,417	-102	274	+377
その他	284	284	+0	10	12	+2
消去・全社				372	-86	-459
合計	4,570	6,352	+1,782	-157	295	+452

第1四半期実績 海外売上収益

(億円)

	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
北米	3,166	4,603	+1,437
欧州	100	156	+57
アジア	216	210	-5
その他	141	252	+110
合計	3,623	5,222	+1,598

連結財政状態計算書

(億円)

	2021年3月末	2021年6月末	増減
資産合計	34,117	33,917	-200
流動資産	19,828	19,392	-436
非流動資産	14,289	14,525	+236
負債合計	16,253	15,993	-260
有利子負債	3,339	3,360	+21
資本合計	17,864	17,924	+60
利益剰余金	14,353	14,322	-31
親会社の所有する帰属持分	17,777	17,834	+56
親会社の所有者に帰属する持分比率	52.1%	52.6%	-
D/Eレシオ	0.19	0.19	-

第1四半期実績 単独販売台数

(千台)

	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
国内生産*	55.9	117.2	+61.3
国内売上	17.5	21.0	+3.6
登録車	13.1	16.4	+3.3
軽自動車	4.3	4.6	+0.2
輸出台数	45.1	96.2	+51.2
海外生産用部品	32.6	89.3	+56.7
単独合計売上	95.1	206.5	+111.4

* トヨタ向け86の台数を含む

第1四半期実績 米国子会社業績

(Million US\$)

SOA *1	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
売上高	2,713	3,796	+1,083
営業利益	70	249	+180
当期純利益	90	205	+115
小売販売台数(千台)	136.1	159.9	+23.8
SIA *2	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	増減
売上高	929	1,753	+823
営業利益	-151	-45	+106
当期純利益	-115	-36	+79
生産台数(千台)	36.3	66.6	+30.3

*1 SOA: Subaru of America Inc. *2 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc.

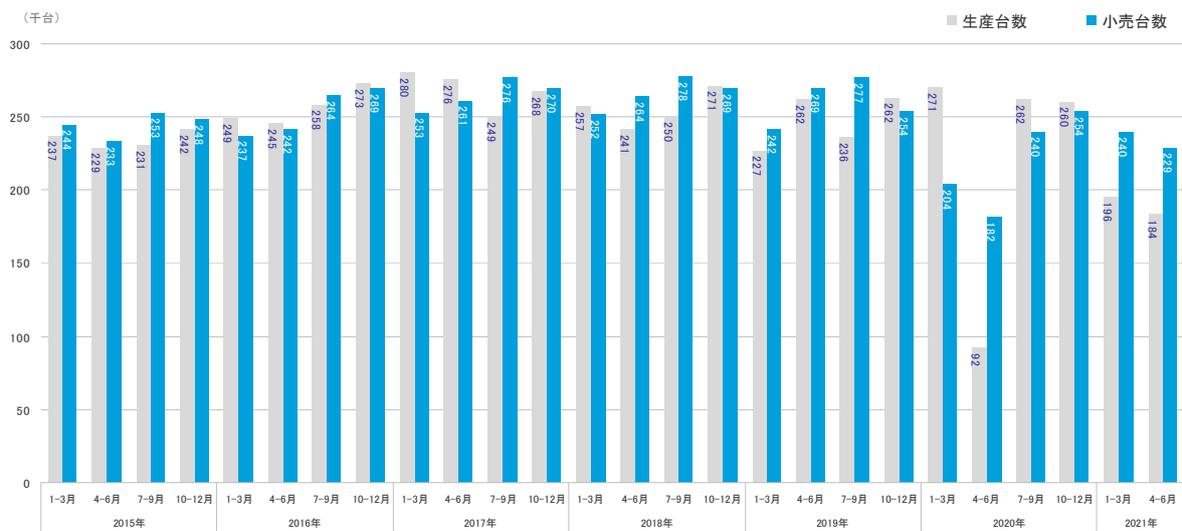
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2021年3月期実績及び2022年3月期実績(四半期別)

(億円)

	2021年3月期				2022年3月期
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	1Q実績
連結販売台数(千台)	133.1	230.3	267.8	229.1	175.3
生産台数(千台)	92.2	261.7	260.4	195.6	183.8
売上収益	4,570	7,614	8,564	7,554	6,352
営業利益	-157	463	676	42	295
当期利益	-77	314	505	23	185
為替レート US\$	¥107	¥107	¥105	¥104	¥109

生産台数/小売台数 推移



* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。